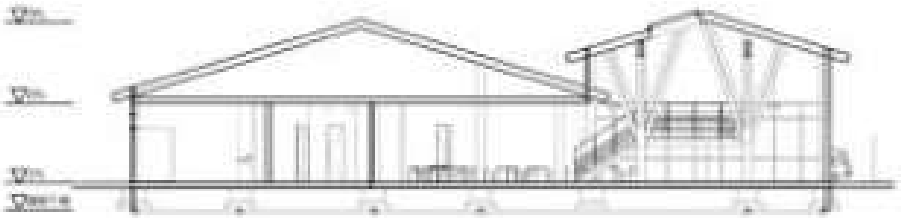
〈コンセプト〉 多様な時間が交差する空間

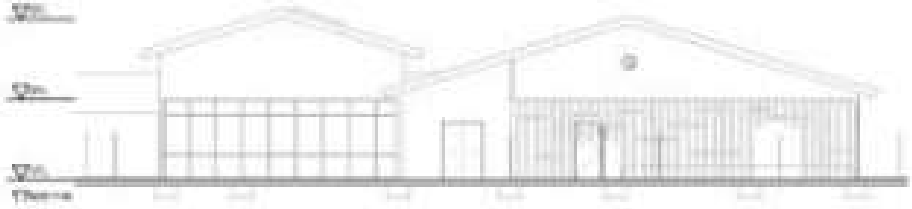
〈敷地〉
道の駅　おおうち
駐車場付近にある休憩所

〈現状〉
・トイレ・待合室がある。
・明確なバス停はなく、バスは建物の入り口周辺で停止する。
・バスの利用者が減り、休憩所でバスを待つ人も減った。

バスや電車を待つ以外にも利用しやすく、訪れた人の出会いの空間を目指す。

〈利用者の想定〉
電車・バスを待つ人、勉強する人、軽食を取る人、道の駅の温泉を利用した後に一休みする人、キャンピングカーで駐車場を利用する人　など





〈多目的スペース〉
利用する人がやりたいことに応じて場所を選べるように、腰掛けやすい段のスペース、多用途で用いやすいテーブル・イスも設ける。

街灯がなく、星空が良く見えるため、多目的スペースの中心部分に焚火台を付けたスペースを設け、のんびり過ごすことができる場所を提供する。

〈バス停〉
悪天候時や暗い時間は建物内から直接バス停までアクセスできるように出入り口を設ける。

〈通路〉
各建物は多目的スペースに光を持ち込むないように外との中間的な場所とするまた、
カーブした木材に囲まれた空間であるため、木を楽しみながら通ることができる。